

第3回名古屋まちなみデザインセレクション

まちなみデザイン20選
まちなみデザイン賞
選集

主 催／ 名古屋市住宅都市局都市計画部都市景観室
TEL : 052-972-2732
E-mail: a2732@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

共 催／ 公益社団法人愛知建築士会
公益財団法人名古屋まちづくり公社

協 力／ 栄公園振興株式会社
公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー

発 行／ 平成29年3月

第3回名古屋
まちなみデザイン
セレクション

まちなみデザイン20選
まちなみデザイン賞 選集



名古屋市

第3回 名古屋まちなみデザインセレクション



名古屋市長
河村 たかし

第3回名古屋まちなみデザインセレクションによせて

平成24年度から隔年で実施しております「名古屋まちなみデザインセレクション」も3回目となりました。今回は期間をこれまでより少し長くして募集を行ったことにより、より多くの皆さんから「お気に入りの風景」を投稿いただくことができ、今回も素晴らしい風景がたくさん集まりました。

皆さんから投稿された風景や、選ばれた風景を概観してありますと、ランドマークになるような建物、そして歴史のある建物やまちなみが多く見られ、これらのまちの「顔」とも呼ぶべき建物やまちなみが魅力的な風景をつくる要素として大切であることがわかります。このほかに、よく生長した公園樹や街路樹、川や池などの水辺の景観にも皆さんの関心が高く、良好な景観づくりにはこれらの維持管理も大切であると感じました。

また、こうした良好な景観をつくり維持していくために、市民の皆さんがボランティアなどさまざまな形で関わり、ご尽力いただいているものが多いということも改めて感じました。まことにありがとうございます。

今後ともより多くの方に、まちの景観に対する関心や大切に思う気持ちを持っていただくことで、住んでいるまち、働いているまちへの愛着が高まるものと思っております。今後もおもしろいまち、自慢できるまちをつくっていきたいと思いますので皆さんのご協力をお願いします。



有識者懇談会 座長
岡田 憲久

まちなみデザイン賞総評 ―都市の豊かさとは―

第3回を迎えたまちなみデザイン賞では、これまでと違った街の魅力に出会うことができました。その魅力とは、歴史的遺産を核とした場が新たにリデザインされていること、その場での住民活動が魅力ある景観を生みだしていること、加えてセンスある新しい動きが次々と誘発され続けていることです。特に「高針の丘にある蓮教寺」、「米野ふれあいサロン『なかよし』一覧家住宅」、「個性的なお祭りやお店で活気づく覚王山」、「堀川散歩 錦橋から納屋橋」は実に人間味のある暖かさに満ちており、都市の懐の深さや豊かさを強く感じさせてくれます。

一方、活気づく名古屋駅前に生まれた「大名古屋ビルヂング」は地元で親しまれる名前が残され、新しい駅前のランドマークになりました。そしてもう一つ、のびやかなスケール感をもつ「緑豊かな庄内緑地」は、実は庄内川の遊水池として防災的機能を持つということも、この賞を通じて市民の皆さんにぜひ知っていただきたいと思います。

今回の選考を通して、景観というものが歴史や、建築、まちなみ、緑、さらには住民の暮らしや住民運動までも含んだ総合的なものの結果であることを理解しました。これからも市民による、多様な視点からの都市の魅力の発見を通して名古屋という都市の豊かさへとつなげてゆければと思います。

第3回 名古屋まちなみデザインセレクションの概要

趣 旨

「お気に入りの風景・まちなみ」の投稿や市民投票への参加などをきっかけとして、市民の皆さんに魅力ある景観づくりに関心をもっていただき、名古屋のまちへの愛着や誇りを高めることを期待して実施しました。

流 れ

投稿募集

お気に入りの風景・まちなみ(投稿数:347件)
平成27年12月7日～平成28年8月3日

紹 介

名古屋まちなみデザインセレクション
公式 SNS(フェイスブック・ツイッター)掲載
投稿いただいた風景を随時紹介しました。

選 定

第3回 まちなみデザイン20選 ▶5ページ

市民投票により決定
投稿いただいた中から、市民の皆さんが「好き・大切にしたい」風景・まちなみを市民投票により選定するもの
※過去に選定された風景・まちなみと重複するものなど一部整理しました。

オアシス21会場市民投票の様子

市民投票(投票者数:2,071人)
・平成28年10月3日～23日/インターネット
・平成28年10月7日～9日/オアシス21
・平成28年10月14日～16日/金山総合駅連絡通路橋
・平成28年10月18日～23日/名古屋都市センター

まちなみデザイン賞 ▶15ページ

都市景観賞が生まれ変わりました
投稿いただいた中から、良好な風景・まちなみに貢献している「建築物・広告物・まちづくり活動等」を有識者懇談会各委員の意見を踏まえて選定し、所有者・設計者・活動団体等を表彰するもの

名古屋まちなみデザインセレクション有識者懇談会

- 岡田 憲久 名古屋造形大学・大学院特任教授(ランドスケープ)
- 阿部 順子 椋山女学園大学准教授(建築)
- 小 松 尚 名古屋大学大学院准教授(建築)
- 水 津 功 愛知県立芸術大学教授(ランドスケープ)
- 中島 幸子 名古屋リビング新聞社部長(文化)
- 山田 正博 愛知建築士会副会長(建築)

発 表 表 彰

20選(第3回)の発表・デザイン賞の市長表彰
平成29年3月 市役所正庁にて発表・表彰式



前回の発表・表彰式の様子

P R

選集・各種広報媒体による PR
選集(本冊子)の配布、市の広報媒体による広報、市役所内での常設パネル展示などにより紹介

名古屋市公式ウェブサイト
<http://www.city.nagoya.jp/>
名古屋まちなみデザインセレクションや歴代の名古屋市都市景観賞については、名古屋市公式ウェブサイトでご覧いただけます。

● まちなみデザイン 20 選

■ 桃巖寺の参道	5
■ 白鳥庭園	5
■ 晩秋のアクテノン	6
■ 星が丘テラスのクリスマスイルミネーション	6
■ 徳川園の「大曾根の瀧」	7
■ 大江川緑地の紅葉	7
■ 山崎川雪景色	8
■ 藤が丘駅周辺の桜並木	8
■ 東山給水塔	9
■ 熱田堀川の御陵橋から見た夕景	9
■ 夜明けの熱田記念橋	10
■ 庄内川の夕景	10
■ 名古屋城西北隅櫓	11
■ 名古屋港シートレインランドの夜景	11
■ 久屋大通公園の木陰	12
■ 久屋南噴水から見た舟型のオブジェとテレビ塔	12
■ 泉二丁目から飯田町に至る満開の大寒桜と寒緋桜	13
■ 中村の大鳥居	13
■ 熱田神宮	14
■ 名古屋国際会議場付近の歩道橋から見たナンジャモンジャ並木	14

● まちなみデザイン賞

■ 高針の丘にある蓮教寺	16
■ 米野ふれあいサロン「なかよし」一覧家住宅	17
■ 大名古屋ビルヂング	18
■ 緑豊かな庄内緑地の朝	19
■ 堀川散歩 錦橋から納屋橋	20
■ 個性的なお祭りやお店で活気づく覚王山	21

第3回

まちなみ
デザイン20選

投稿いただいた中から、市民の皆さんが「好き・大切にしたい」風景・まちなみを市民投票により選定しました。



第3回

まちなみ
デザイン20選

桃巖寺の参道

桃巖寺は織田信秀の菩提寺として二男信行が建立したお寺。本尊は聖観世音菩薩。守護神は弁天像である。中でも「ねむり弁天」は有名である。本堂には直径約1メートルという日本一大きな木魚がある。境内には、信秀の墓と座高10メートルの青銅製の名古屋大仏や珍しい四方竹などがある。



■所在地
千種区四谷通二丁目

■投稿者 成田一春さん
■コメント 紅葉が美しい閑静な参道に引き込まれます。



第3回

まちなみ
デザイン20選

晩秋のアクテノン

■投稿者 大井敏裕さん
■コメント フランス映画のような芸術の舞台。木々の茶、紅葉、白い建物がお洒落なコントラストを見せてくれます。

名古屋市演劇練習館(アクテノン)は、演劇を中心とした舞台芸術の練習専用施設である。この建物は昭和12年に稲葉地配水塔として建設され、昭和40年から平成3年まで中村図書館として市民に愛されてきた。平成7年には当時の外観をできる限り活かした改修をし、名古屋市演劇練習館として新たに生まれ変わった。名古屋市都市景観重要建築物。



■所在地 中村区稲葉地町

第3回

まちなみ
デザイン20選

白鳥庭園

白鳥庭園は、池泉回遊式庭園で中部地方の地形をモチーフに、築山を御嶽山、そこからの流れを木曽川、流れの水が注ぎ込む池を伊勢湾に見立て、源流から大海までの「水の物語」をテーマにした東海地方最大級の規模を誇る日本庭園である。毎年、秋から冬にかけて、紅葉ライトアップイベント「あかりアート」が開催されている。



■所在地 熱田区熱田西町



■投稿者 山田 修さん
■コメント 四季を通じて定期的を訪れるお気に入りの場所です。

第3回

まちなみ
デザイン20選

星が丘テラスの

クリスマスイルミネーション

星が丘テラスのウィンターイルミネーションは毎年冬に実施。中でもイベント広場に広がる建物型の照明は、平成25年に始まり、相山女学園大学の学生がデザインと組み立てを行っている。「希望の虹」など全体のテーマにもとづいた街を表現しており、実物の30分の1の大きさで制作。見る人の心を温かくさせてくれる。



■所在地
千種区星が丘元町

■投稿者 匿名希望
■コメント クリスマス期間しか見れないイルミネーションは夜とても綺麗に輝いていて感動します。





第3回 まちなみデザイン20選 徳川園の「大曾根の瀧」

徳川園はもと尾張徳川家の大曾根屋敷。現在は、江戸時代の大名庭園を再現した池泉回遊式の日本庭園として、四季を通じて楽しめる庭となっている。「大曾根の瀧」は園内の最も高い山から落ちる、落差6m、3段の滝。深山幽谷の木曾谷をイメージして造られており、組み方が異なる上・中・下段の岩によって、変化に富んだ表情の水しぶきが見られる。



- 所在地 東区徳川町
- 投稿者 山田國弘さん
- コメント 訪れる人々の心が癒される場所で、何度訪れても飽きない場所です。



- 投稿者 猪子重正さん
- コメント 久しぶりの大雪の朝、すぐ長ぐつを履いて、近くの山崎川へ向かいました。桜並木の枝がすべて雪で飾りつけられ、朝日の光を浴びて輝いていました。

山崎川は平和公園の猫ヶ洞池に源を発し、昭和区・瑞穂区の住宅地を曲がりながら流下して名古屋港に注ぐ、延長13.6kmの河川。湾曲する山崎川と桜の木々が調和した景観で、特に木造で風情のある鼎(かなえ)小橋付近には、老木が数多く残され、川面と相まって見所のひとつになっている。



- 所在地 瑞穂区石川町、御莫町(おたばこちょう)

第3回 まちなみデザイン20選 大江川緑地の紅葉

昭和55年に、川の一部を埋め立てて作られた、南区最大の緑地。園内には約7万5千本の樹木が植えられており、噴水と季節の花が、訪れる人の目を楽しませてくれる。緑地東端には芝生の開放的な空間が広がっている。全長約1.8kmの細長い地形を生かして、人工の川やサイクリングコースが整備されており、ウォーキングやジョギングを楽しむ人の姿も見られる。



- 所在地 南区元塩町、丹後通、神松町、星崎町、宝生町、大同町



- 投稿者 山口真由さん
- コメント 紅葉のじゅうたんが一面に広がっていました。

第3回 まちなみデザイン20選 藤が丘駅周辺の桜並木

土地区画整理組合より提供された土地に、昭和44年地下鉄東山線藤が丘駅が完成し、それまで農地中心であったところに住宅が建ち並び、急速に都市化した。駅周辺のソメイヨシノはこの土地区画整理事業で植えられたもので、桜の成長がまちの成熟を物語っている。毎年満開となるころにさくらまつりが開催され多くの人でにぎわう。



- 所在地 名東区藤が丘



- 投稿者 井上英樹さん
- コメント 桜の木が道の両側にあり、桜のトンネルのようになるのがお気に入りです。散り際の桜吹雪も見事です！

東山給水塔



■投稿者 馬場夏子さん

■コメント 今の時代には珍しいレトロな給水塔。だけど街に溶け込んでいてとても存在感がある。通りがかる人たちがつい上を見上げてしまうような魅力的な給水塔。

昭和5年、東山配水塔として建設され、昭和48年までの43年間、覚王山一帯の高台に配水するために利用されてきた。昭和54年に災害対策用の応急給水施設へ改造を行い東山給水塔と改名。300㎡(10万人分の一日の飲料水相当)の飲料水を貯えている。市内各所から見ることのできるランドマーク。名古屋市都市景観重要建築物。※現在、場内工事のため非公開



■所在地 千種区田代町字四観音道西

夜明けの熱田記念橋



■投稿者 門松真一さん

■コメント ライトアップされた記念橋が夜明けの空に映えました。

熱田記念橋は、平成元年に市制100周年を記念して開催されたデザイン博の際、白鳥会場への入場ゲートとして架けられた吊り橋。白鳥会場はかつて国内最大・最古の貯木場であったところを埋め立てたもので、現在は国際会議場と緑地になっている。この緑地と東海地方最大の前方後円墳、断夫山古墳のある熱田神宮公園とを結ぶ。



■所在地 熱田区熱田西町

熱田堀川の御陵橋から見た夕景

御陵橋は昭和62年に地下鉄神宮西駅方面と白鳥庭園などを結ぶため、堀川に架けられた人道橋。近くの白鳥御陵にちなんだ名前となっている。風景を楽しめるように、中央に円形のバルコニーが設けられており、ここから北方面を臨むと正面には吊り橋の熱田記念橋、左側には国際会議場、右側には熱田神宮公園が見られる。



■所在地 熱田区熱田西町



■投稿者 安藤健吉さん

■コメント 堀川がまるで燃えているように感じました。

庄内川の夕景

庄内川は岐阜県恵那市の夕立山(標高727m)より発し、岐阜県東濃地方・愛知県尾張東部を経て本市西北部を流下し、名古屋港へ流れる延長96kmの一級河川。このあたりは川幅もあり、その西方には高層の建物が少ないため、ゆったりとした水面の向こうに沈む夕陽が美しく見られる。



■所在地 中川区中須町、富田町前田



■投稿者 荻本芳一さん

■コメント 庄内川の風物詩。皆に親しまれている夕景です。新前田橋からも楽しめます。

名古屋城西北隅櫓



■投稿者 岸 美希さん

■コメント ここに20年間住んでいて、いつもと違った姿を見せてくれて、毎日飽きません。雪景色がとても美しいです。地元を誇りに思います。

空襲の中を焼け残り、昭和37～39年に解体修理をしているが、創建当時の姿を今に伝える。三層三階建てで、千鳥破風が付く。方角から戌亥櫓と、また清須城の遺構を移築したとの説から清洲櫓とも言われる。西南隅櫓、東南隅櫓とともに、国の重要文化財。西北隅櫓前のエノキは、築城時に五本を一束にして植えられたものといわれ、五行の木と呼ばれ、現在樹高30mにもなっている。



■所在地 中区本丸

久屋大通公園の木陰



■投稿者 福永ひろ子さん

■コメント テレビ塔から名古屋城へ向かって行くまっすぐな木陰の道、涼しく森林浴もでき素敵なお場所です。お昼にはお弁当などもベンチで食べています。読書をたのしんでいる人もいます。癒しの空間です。

久屋大通公園は、戦災復興事業で計画された2本の100m道路のうち、南北方向の「久屋大通」の中央部分を利用した延長約2 kmに及ぶ公園。名古屋を代表する都心のオアシスとして人々に賑わいと安らぎを与えている。さらに魅力ある公園とするために、久屋大通の再生が検討されている。



■所在地 中区丸の内三丁目

名古屋港シートレインランドの夜景

名古屋港ガーデンふ頭に平成7年に開園した、大人も子供も楽しめる遊園地。かつてここには名古屋港貨物ターミナルがあり、海のseaと列車のtrainを合わせてシートレインランドという。高さ85mの観覧車からは、名古屋港や中川運河、鈴鹿の美しい山並みが眺められる。日没頃からイルミネーションが見られる。



■所在地 港区西倉町



■投稿者 匿名希望

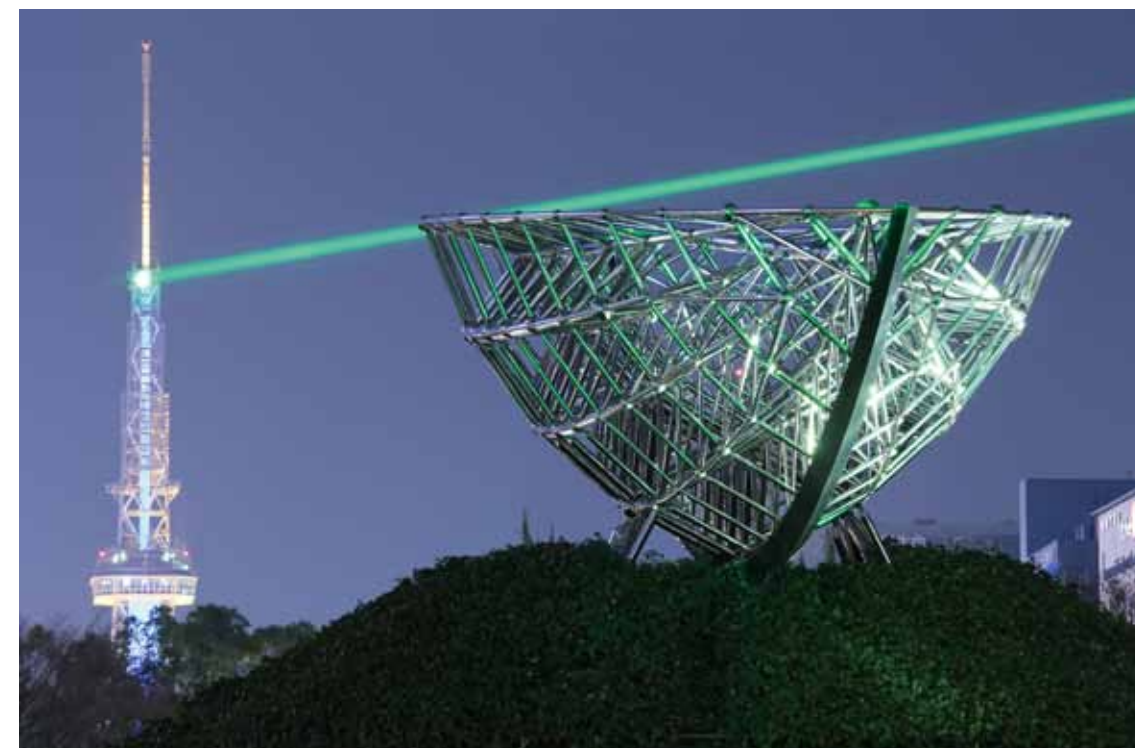
■コメント 日が暮れた直後のシートレインランドはイルミネーションに彩られてロマンティックな空間になります。

久屋南噴水から見た舟型のオブジェとテレビ塔

モニュメントとレーザー光は、昭和61年(1986年)に市が実施した久屋大通公園(広小路通より南)と戦後復興事業の収束を記念するモニュメントの公開設計競技で優秀賞案によるもの。天空に開く円弧の造形は歴史と未来を結ぶ手・新たな芽・光を象徴し、復興の歴史を現在から未来へと発信するものとしてデザインされている。現在、レーザー光は春・夏・冬休みの日などに照射されている。



■所在地 中区栄三丁目



■投稿者 匿名希望

■コメント 何気なくとおる栄周辺。見上げるとレーザー光がテレビ塔に照射されていました。

第3回

まちなみ
デザイン20選

泉二丁目から飯田町に至る満開の大寒桜と寒緋桜



- 投稿者 佐々基成さん
- コメント 市内で一番早くお花見が出来る桜トンネル並木。

昭和36年(1961年)、「名古屋で一番早く咲く桜を植えてほしい」という地元の希望で、16本の早咲きの桜が植えられた。淡紅色の桜は、大寒桜(オオカンザクラ)で、濃い紅紫色の桜は、寒緋桜(カンヒザクラ)。例年3月中旬頃に満開になる。現在、北側は二葉館のある白壁をこえて芳野町の方まで延びていて、約1.4kmの間に約140本の桜が並木道をつくっている。



- 所在地 東区泉二丁目、三丁目

第3回

まちなみ
デザイン20選

熱田神宮



- 投稿者 匿名希望
- コメント お正月を過ぎても多くの参拝者が訪れます。七五三や初詣など多くの思い出がある場所です。

熱田神宮の創祀は景行天皇43年(113年)、三種の神器の一つである草薙神剣の御鎮座に始まる。本宮には草薙神剣を御神体とする熱田大神をお祀りし、伊勢の神宮につぐ格別に尊いお宮として知られている。6月5日の例祭「熱田まつり」を始め、年間約70もの祭典などが行われ、年間を通じて多くの参拝者でにぎわっている。



- 所在地 熱田区神宮一丁目

第3回

まちなみ
デザイン20選

中村の大鳥居

大正10年(1921)に中村が名古屋市に編入されたのを記念し、昭和4年(1929)に建てられた鉄筋コンクリート製の大鳥居で、高さは約24mになる。当時は現在のような建物の立ち並びもなく、野原が広がっていたため、庄内川の枇杷島橋や関西線の八田駅など遠方からも眺めることができ、その存在感は圧倒的なものであった。



- 所在地 中村区鳥居通、鳥居西通



- 投稿者 伊藤綾那さん
- コメント 街中に突如現れるインパクトが好きです。

第3回

まちなみ
デザイン20選

名古屋国際会議場付近の歩道橋から見たナンジャモンジャ並木

ナンジャモンジャ(ヒトツバタゴ)並木は、平成元年に開催された世界デザイン博を機に植えられた。外国原産の街路樹が多いなかで、愛知県や岐阜県などの山地に自生する郷土の樹種である。4月末から5月上旬にかけて、木全体が白い雪をかぶったように花が咲く。大宝線街路樹愛護会のご協力で美しく維持されている。



- 所在地 熱田区西町



- 投稿者 安藤健吉さん
- コメント 5月の新緑のこの時期、毎年真っ白な雪が積もったような並木道に変身しているので楽しみです。

投稿いただいた中から、良好な風景・まちなみに貢献している「建築物・広告物・まちづくり活動等」を、有識者懇談会の意見を踏まえて選定し、所有者・設計者・活動団体等を表彰するものです。



- 所在地 名東区高針四丁目
- 管理者 三井蓮孝(住職、宗教法人蓮教寺代表役員)
- 監修 京都造形芸術大学教授 尼崎博正
- 設計 武廣 健、株式会社三五郎園、植彌加藤造園株式会社
- 建築時期 長徳年間頃創建。正徳6(1716)年に現在地に移転。平成26～28年に境内の改修工事を実施
- 備考 国登録有形文化財(建造物)蓮教寺本堂 始め6棟



投稿者 匿名希望



講評

訪れた時目にしたのは、山門の下で何かに熱中して座り込んだり、境内で駆け回る子供達です。それは懐かしい風景のようでした。この地域にとけこんだお寺は熱意あるご住職を中心として造園設計者が境内改修デザインをし、檀家さんや地域の人々、子供達が参加して整備されたことで生まれました。

明るく開かれた境内のデザインは作為を感じさせず、関わった人々によってこれからも長く適切に管理されていくであろうこと、お寺の行事も地域の核となって続いていくであろうことが感じられました。久しぶりに「造園」の力を見た気がします。

名古屋造形大学・大学院特任教授 岡田憲久



まちなみデザイン賞 米野ふれあいサロン「なかよし」－寛家住宅



- 所在地 中村区下米野町
- 管理者 寛 清澄
- 建築時期 江戸末期の建物を明治元年移築（曳家）
- 活動団体 米野ふれあいサロン「なかよし」（代表 大島鉦一）
- 備考 国登録有形文化財（建造物）寛家住宅主屋、名古屋市登録地域建造物資産



■投稿者 寛 清澄さん



講 評

名古屋駅の南西部に位置し古い町並みが残る住宅密集地の狭い路地を入ったところに江戸末期に建てられた主屋と明治初期に建て増しされた古民家を活用したサロンがある。

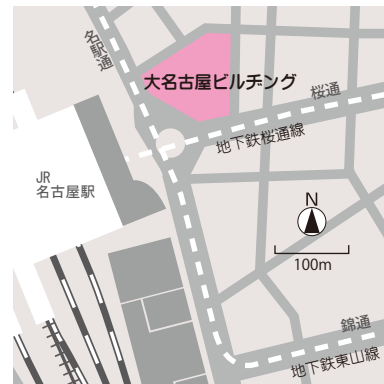
高齢化が進む地域では隣近所の助け合いや世代を超えたつながりが大切で孤立しがちな地域の高齢者が集い自由に利用できる憩いの場として親しまれている。

先代は能楽大蔵流大鼓方の重要無形文化財保持者で日本の文化に触れ伝承するため子供能楽教室を運営されていて、壁面には蒲郡プリンスホテルの迎賓館にあった「若竹の障塀画」が飾られ地域のサロン・能楽の稽古場として引継がれている。所有者は建築事務所を営み「なごや歴まちびと」として古民家の調査・保存活用のアドバイスもされている。

公益財団法人愛知建築士会副会長 山田正博



まちなみデザイン賞 大名古屋ビルヂング



- 所在地 中村区名駅三丁目
- 所有者 三菱地所株式会社
- 設計 株式会社三菱地所設計
- 完成時期 2015年10月31日



■小笠原貞子さん 福田真子さん 山田國弘さん 匿名希望

講 評

着々と再開発が進む名古屋駅前エリア。キラキラと輝くビルが立ち並ぶ“近未来的な街並み”に、期待感が高まります。

なかでも注目したいのが、インパクト大な名称はそのままに、スタイリッシュに生まれ変わった「大名古屋ビルヂング」です。低層階は旧ビルの面影を残し、高層階は大樹をイメージしたというこは、上質で旬な“衣食住”が丸ごとそろるのがポイント。名古屋のシンボルとして、新たな波を起こしてくれそうな予感です！

名古屋リビング新聞社
メディアプロデュース部部长
中島幸子



まちなみ
デザイン賞

緑豊かな庄内緑地の朝



- 所在地 西区山田町
- 管理者 名古屋市



投稿者 匿名希望



講評

庄内緑地は大芝生広場、ピクニック広場や高く生長した豊かな木々のある、市民の憩いの場所で、公園としては市内有数の広さをもつ。大都市にあってこの広大さは貴重で、堤防からの胸のすくような緑の景観は感動的である。

平時はゆったりしたこの空間であるが、非常時には遊水地として多くの水を湛水し、市民やまちを水害から守る役割もある。四季折々思い思いに楽しめるこの公園は、市民共有の財産として世界にも誇れるものと思う。

梶山女学園大学准教授 阿部順子



まちなみ
デザイン賞

堀川散歩 錦橋から納屋橋



- 所在地 中区錦一丁目・中村区名駅五丁目
- 管理者 名古屋市
- 活動団体 堀川フラワーフェスティバル実行委員会



投稿者 大井敏裕さん



講評

堀川は名古屋城築城の為に造られた運河で、江戸期までは水質もよく、泳いだ、魚を食した等の記録が残っている。明治に入ると下水整備の影響で水質が急激に悪化、昭和30年代に汚濁のピークを迎え、川が悪臭を放つ時代に背を向けて建ったビルが今でも残っている。

近年水質の改善と共に、リバーフロントを再生する努力が活発になってきた。今回の受賞は、こうした堀川再生の努力を続ける方々への励みになることを願ってやまない。

愛知県立芸術大学教授 水津 功





■所在地 千種区山門町
■活動団体 覚王山商店街振興組合



投稿者 匿名希望（上下）



講評

1990年代までは毎月21日の弘法の日以外は、静かで優良な住宅地というのが大方のイメージだった覚王山。しかし、日泰寺にあやかったアジア志向やアートやクラフト感覚あふれる出店が並ぶ季節毎のお祭りの開催は、この界隈に新たなまちづくりの息吹を吹き込み、魅力的な店舗の相次ぐ開店へと展開してきた。

この表彰を通じて、一連の動きを長年マネジメントする商店街組合はじめ関係者の企画力、行動力、協働力そして継続力をぜひ共有したい。

名古屋大学大学院准教授 小松 尚

